

録画が停止しない街頭防犯カメラ開発 による、独自性と競争力強化

商圏の拡大、独自性・独創性の発揮、顧客満足度の向上、IT利活用

街頭防犯カメラに“ドッグウォッチタイマー”を搭載 定期的な再起動で、継続した録画を可能に 顧客の声を生かした商品開発でさらなる販路拡大を



**県内で唯一、防犯カメラを開発・販売
市民の安全に貢献**

【経営理念】

- 1 常に新技術を学習し、お客様のニーズに合わせた製品の供給
- 2 他社に無い製品を創造し、アイデア・話題性のある製品の供給
- 3 他社より低価格販売・高品質な製品の製作と供給

犯罪の抑止や事件捜査などを目的に今や街中にあふれる防犯カメラ。県内で唯一、防犯カメラの開発・製造を行っている株式会社ヒーローは、これまでインターネットを中心に県内外に数十万個以上もの製品を販売、市民の安全な暮らしを支えてきた。山の中など電源がないような場所でも、日中の太陽光発電で蓄電しながら動かす「ソーラーパネル記録セット」や、カメラとモニター間の配線が不要なため、配線が困難な場所や技術がない一般の人でも設置できる「無線カメラ」など、ニーズに合わせた商品を次々に開発。特に、防犯カメラと録画装置が一体構造となるSDカード記録式の「街頭防犯カメラ」は売り上げの3割を占める主力商品として、北海道から沖縄まで全国各地での販売実績を誇る。警察のほか、最近では地域や企業などからの依頼も多く、保育園や幼稚園、小中学校の通学路や出入り口、駐車場、ソーラーパネル発電所など設置場所もさまざま。東日本大震災で避難区域となり、無人になった街にも空き巣防止や現状把握のために設置したという。



**録画が停止しても、
再び自動的に作動するシステムを開発**

しかし、落雷や停電など外部的な要因で録画が停止してしまい、その後気づかないまま放置されることが課題だった。店内のモニターなどとセットになっているカメラに対し、街頭カメラは通常、映像をリアルタイムで見ることはない。そのため何らかの原因で録画が停止されていても設置者が気付くことはなく、事件や事故などが発生して必要となった時に初めて録画停止が分かることも少なくないのだという。「止まってはいけないものの、いざという時に『止まっていた』では意味がありません」と竹内一雄社長。試作を繰り返し、一度録画が止まっても強制的に録画をスタートさせる機能を上乗せしたカメラを開発。24時間ごとに強制的に再起動させる“ドッグウォッチタイマー”を組み込んで、長期間有効に使うことを可能にした。価格は従来の街頭防犯カメラと同じ69,800円に据え置き、顧客に紹介したり、ホームページ上で新製品として案内したりしたところ、前年度比2・5倍の売り上げとなった。



代表取締役社長
竹内 一雄

録画装置一体型カメラ評価サンプル機



自動メンテナンス機能搭載 街頭防犯カメラ
以前は、停電時のみに自動再起動する仕組みだったが、雷や電気ノイズによる録画停止時も定期的な再起動時にノイズを除去して、録画状態でスタートする機能を開発。人的なエラー「録画スタート忘れ」「設定中」の放置、長期間の放置でも自動で録画状態となる



**ニーズを捉えた商品で
さらなる販路拡大を狙う**

2020年開催の東京オリンピックや各地で多発しているテロなどを背景に、防犯カメラの国内市場は大きく拡大傾向にある。竹内社長によると県内の需要も3年ほど前から急激に増え始め、企業や自治会などが地域の安全のために寄贈するケースも多いという。県内であれば同社が設置も請け負っているため、顧客の声もダイレクトに届き、新たな商品開発につながっている。竹内社長は、「価格競争をしていても大手メーカーには勝てない。顧客のニーズに合わせて細やかなサービスを提供できるのがうちの強み。修理などのアフターケアも充実し、スピーディに商品を届けられる点も売り込みたい」と意気込む。

Company Data

(株)ヒーロー



出雲市白枝町の本社社屋

代表者名：竹内 一雄
設立年月日：平成2年7月18日
資本金：15,000千円
従業員数：2名
業種：機械器具小売業
売上：33百万円
住所：〒693-0006
島根県出雲市白枝町741-5
電話：0853-21-9199
FAX：0853-21-5651
URL：<http://www.hero-jp.net/>
メール：kaz_t@hero-jp.net